

**信州大学医学部附属病院 形成外科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。**

**「乳児期における片側唇裂手術でのアンカー付き吸収糸による両側鼻翼基部引寄せ縫合の効果の検討」に関する臨床研究を実施しています。**

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	乳児期における片側唇裂手術でのアンカー付き吸収糸による両側鼻翼基部引寄せ縫合の効果の検討
所属(診療科等)	形成外科
研究責任者(職名)	藤田賢吾(助教(診療))
研究実施期間	医学部長による許可日～2029年3月31日
研究の意義、目的	片側唇裂患者さんの乳児期における初回口唇外鼻術での鼻幅の変化を明らかにすることを目的とした研究で、口唇裂患者さんの手術方法の改良に貢献すると考えられます。
対象となる方	2014年1月1日から2019年12月31日までの間に、乳児期に初回口唇外鼻術を受け、かつ5歳前後(4歳0か月以上、7歳0か月未満)で顎裂骨移植術を受けられた方
利用する診療記録	手術時の年齢、性別、手術記録、手術前、手術直後、5歳前後の3時点における鼻幅の実測値
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、手術方法により術後の鼻幅の変化に差があるかどうかを検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 藤田賢吾(助教(診療)) 電話: 0263-37-2833

**既存の診療記録を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。  
当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。**

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。